

12020 Activities I b Activities I 12021 Activities II b / 12022 Activities III b / 12023 Activities IV b		1年、I前期・II後期 2年、III前期・IV後期 1単位	
担当者	浅野 敏夫	履修可能学科	E必
		関連資格	
サブタイトル	英文翻訳の技能を身につけよう		
授業内容 ・ ねらい	<p>※2時限連続の授業 英語を日本語にする「翻訳」（一部、日本語を英語にする翻訳を含む）の技能を実践的に身につける授業です。「英文和訳」とは異なるものとしての「英文翻訳」の勘所をつかむのが目標になります。原文の意味・メッセージを自然で適切な日本語にする作業をするなかで、将来は「実務翻訳」「出版翻訳」にかかわっていただくの心構えを培ってほしい。世に横行している欠陥翻訳を「反面教師」として検討もします。</p>		
授業計画	<p>当初は翻訳の要領・秘訣を理解してもらう「講義」形式の授業を行うが、なるべく早く受講生各自に教室で一斉に翻訳作業をしてもらいます。作成された受講生人数分の翻訳サンプルをただちに全員で検討し合い、いくつかの段階の評価をくだします。</p> <p>一方で、教室外で翻訳してもらったものをレポートとして提出いただき、これについても全員で検討します。小テストを3～5回実施して技能がどの程度の段階にあるかを見定めます。最後には何冊か「私家版」翻訳書を完成します。</p>		
教科書 参考書	教科書はありません。翻訳の素材はわたしも用意するが、受講生諸君にも積極的に用意してほしい。洋書、ネットから引用した材料、歌詞カード、映画のシナリオ、英語のアニメ、など素材はさまざまあるから、受講生は好きなものを用意してほしい。		
評価方法	授業での発表の積極性、小テスト、レポートの内容、出欠状況、を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			